JA-RSAデータ利用申請書

申請日: 　　　　　　　　　　年　　　　　　　　月　　　　　　　　日

所属施設名:

機関代表者（研究協力者）：

申請者:

申請者連絡先（メールアドレス）：

共同研究者：

申請資格区分（下記のいずれかにチェック）：

[ ] (1) 本レジストリに関する研究の研究協力機関に所属する研究者

[ ] (2) 国、地方自治体その他の公的機関

[ ] (3) その他、運営委員会が認める者

1. 申請区分

 [ ]  新規 [ ]  継続 [ ]  変更

2. 研究課題名

3. 研究の背景及び目的

4. 研究の方法

5. 利用申請の対象となるデータの範囲ないし内容（4.の記載により明確であれば記載不要）

6. 類似研究（JA-RSAの過去研究・申請中研究における類似研究の有無）

 [ ]  あり [ ]  なし

類似研究課題名：

申請する研究の新規性：

7.　研究期間： データ利用の承認から２年間

8.　研究対象期間： 年 月 日～ 年 月 日

９.　公表方法（予定）※学会名・雑誌名等

 [ ]  学会（ 　　　 ）

 [ ]  雑誌（ 　　　 ） [ ] その他（ 　　　 ）

１０. その他特記事項

申請者は、JA-RSAデータ利用要項第６条１項に定められた下記の遵守事項を遵守することを誓約した上で、本利用申請を行います。

記

(1) データ利用申請にあたって、利用目的その他について、正確な説明を心がけ、虚偽の説明をしないこと

(2) 利用を許可されたデータについて、許可された目的及び方法以外の使用はしないこと。特に、データの対象である特定の個人が識別されるような行為は絶対に行わないこと。

(3) 共同研究者（研究責任者、研究分担者及び研究協力者）以外の第三者に本データを開示又は漏洩せず、本データを譲渡又は貸与しないこと

(4) データの管理にあたっては、研究のために必要がある場合と所属機関のデータ管理規程等にデータのバックアップに関する定めがある場合以外にデータは複製せず、所属機関のデータ管理規程等を踏まえて適切に管理すること

(5) 本データを利用する研究に関する研究計画書又は本データを利用する報告書（以下「研究計画書等」という。）が完成した場合は、運営委員会に提出すること

(6) 実際の研究や報告あるいはその前提となる分析等の中で、当初のデータ利用申請書の内容と異なる内容又は方法で本データを利用することとなる場合（倫理審査によって、研究計画の修正を求められた場合を含む）、研究計画書等を修正したうえでデータ利用申請書を修正し、それに基づく変更申請をするとともに、変更後の研究計画書等を提出すること

(7) 本データに基づく研究期間はデータ利用の承認を受けてから２年間とし、研究期間内に研究が終了しない場合は、別途研究期間延長申請をすること。また、本データに基づく報告等はデータの提供を受けてから６ヶ月以内に行うこと

(8) 本データを用いた研究成果を公表する場合及び本データを用いた報告等を行う場合、本データの出典が本レジストリであること及び本レジストリから本データが抽出された年月日を明示すること。また、公表や報告後に、レジストリ事務局が、本レジストリを用いた研究または報告等があったことを公表することを容認すること

(9) 本データを用いた研究について、学会発表に使用した資料又は投稿した論文等の成果物を提出すること

(10) データ利用許可にあたって特別の条件が付された場合、当該条件を遵守すること

(11) 同一の研究機関に所属するか否かを問わず、共同研究者に本条各号に定められた事項を遵守させること

以上